

愛知県経済の現状と見通し<2014年1月>

1. 総括判断

景気の現状	景気は回復色が鮮明になっている	基調判断の前月との比較(注1)	水準評価(注2)	☀️ ☁️
当面の見通し	回復傾向が持続する見通し		水準評価(注2)	☀️ ☁️

2. 個別項目の動向

個人消費	基調判断	回復色が鮮明に		
	基調判断の前月との比較	↗️	水準評価	☀️ ☁️
<p>《現状》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『管内大型小売店販売』より、個人消費の動向を販売者側からみると(図表1)、11月の名古屋市百貨店販売額は前年比+8.6%の増加。4か月連続の増加となり、伸び幅も前月より拡大。 ○品目別にみると、主力の衣料品(前年比+6.8%)が好調なことに加え、貴金属、宝石、腕時計などの高級品を含む其他商品(同+18.5%)は二桁の伸びとなるなど好調を継続。 ○一方、12月の新車乗用車販売(含む軽)をみると(図表2)、29,329台・前年比+20.6%と4か月連続の前年比プラス。 ○車種別にみると、軽乗用車(前年比+43.6%)、が大幅に増加したほか、普通車(同+13.6%)、小型車(同+11.4%)も二桁の伸び。 <p>《見通し》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○株価など資産価格が堅調なことや賃金・賞与増など所得環境が改善していることから、高級腕時計、貴金属、宝飾品、海外ブランド品など高額商品の売れ行きは引き続き好調に推移する見通し。消費税率引き上げ前の駆け込み需要もあり、耐久消費財は高額品を中心に好調に推移しているものの、4月以降は一時的に下ぶれの動きが見込まれる。 ○乗用車については、新型車販売効果はあるものの、4月の消費税率引き上げ後の動きは鈍化する可能性も。 				
<p>図表1 名古屋市・百貨店販売額<前年比></p>				
<p>(資料) 中部経済産業局「管内大型小売店販売」 (年/月)</p>				
<p>◆11月 名古屋市・百貨店販売額 363億円 前年比+8.6%(4か月連続の増加) ・うち衣料品 前年比+6.8%(2か月ぶりの増加)</p>				
<p>図表2 新車乗用車販売台数<前年比></p>				
<p>(資料) 日本自動車販売協会連合会「自動車登録統計情報」 (年/月)</p>				
<p>◆12月 新車乗用車販売台数<含む軽> 29,329台 前年比+20.6%(4か月連続の増加)</p>				

(注1)「基調判断の前月との比較」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、↗️:上方修正、↔️:据え置き、↘️:下方修正を示す。例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる。したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

(注2)「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、☀️:晴、☀️☁️:晴~曇、☁️:曇、☁️🌧️:曇~雨、🌧️:雨、を示す。

お問い合わせ先	三重銀総研 調査部 別府
	電話: 059-354-7102

雇 用 情 勢	基調判断	回復色が鮮明に		
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☀️ ☁️
	<p>《現状》 ○11月の求人倍率をみると(図表3)、有効求人倍率(季節調整値)は1.44倍と9か月連続の上昇となる一方、新規求人倍率(同)は2.13倍と3か月ぶりの低下。 ○愛知県の有効・新規求人倍率はともに全国レベルでも高い水準で推移し続けている状況。</p> <p>《見通し》 ○景気回復の動きが非製造業から製造業へ広がるなかで、幅広い業種で求人が増加する見通し。</p>			

図表3 有効・新規求人倍率<季節調整値>

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」

◆11月 求人倍率<季節調整値>

- 有効求人倍率: 1.44倍
前月差+0.05ポイント(9か月連続の上昇)
- 新規求人倍率: 2.13倍
前月差▲0.07ポイント(3か月ぶりの低下)

企 業 活 動	基調判断	回復に向けた動きが広がる		
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☀️ ☁️
	<p>《現状》 ○10月の鉱工業生産指数をみると(図表4)、前年比+9.6%と2か月連続のプラス。県内の生産動向に大きな影響を与える輸送機械(同+11.9%)の生産増加が主因。</p> <p>《見通し》 ○愛知県の鉱工業生産に影響力の大きいトヨタ自動車の国内生産動向をみると、11月も3か月連続で前年比プラスとなっていることから、生産活動は引き続き回復基調で推移する見込み。</p>			

図表4 鉱工業生産<前年比>

(資料)愛知県県民生活部統計課「愛知県鉱工業指数」

◆10月 鉱工業生産

- 前年比+9.6% (2か月連続の上昇)
- うち輸送機械 前年比+11.9% (2か月連続の上昇)

輸 出	基調判断	回復している		
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☀️ ☁️
	<p>《現状》 ○11月の名古屋港通関輸出額をみると(図表5)、前年比+20.1%と11か月連続の増加。二桁の伸びは8か月連続。 ○仕向地別にみると、米国向け(前年比+2.8%)、西欧向け(同+13.6%)で伸びが鈍化したものの、中国向け(同+82.6%)を中心にアジア向け(同+40.6%)が大幅な増加。</p> <p>《見通し》 ○一般機械は中部5県主要メーカーの海外受注高(11月:前年比+23.8%)が2か月連続のプラス。アジア向けが前年比マイナスとなったものの、欧州向け、北米向けが前年比プラスとなったことが主因。引き続き海外需要は底堅く推移する見通し。</p>			

図表5 名古屋港通関輸出額<前年比>

(資料)名古屋税関「管内貿易概況」

◆11月 名古屋港通関輸出額

9,282億円 前年比+20.1% (11か月連続の増加)